

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2156 SNMP2356 SCMP2356 SBMP2156 SPMP2156 PSMP2456
2. 授業担当教員	三田真外		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉士の職域、福祉行政等における専門職、また民間の施設・組織における専門職等、ソーシャルワークにおける専門職の概念と範囲について諸外国の動向も踏まえ理解を深める。加えて、ソーシャルワークにおけるマイクロ・メゾ・マクロレベルの対象、それぞれのレベルにおける支援の実際と相互の関連性を学ぶ。ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援と多職種連携、チームアプローチの意義と内容について理解する。		
8. 学習目標	社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート 課題	学習の理解度をみるレポート課題 (1500字以上) と確認テストを数回実施する。 ※レポートの作成方法・構成等の詳細については授業にて説明する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版,2021 年 【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。 2. 筆記試験とレポート試験を行う。60% ○評定の方法 1. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 2. マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。 3. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。		
12. 受講生への メッセージ	本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、下記の事を守ることが期待されている。 1. 遅刻、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席する (した) 場合は書面で教員に届け出ること。 2. レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は減点の対象となる。 3. 私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。違反者は受講態度で減点の対象となる。		
13. オフィスアワー	初回の講義で発表する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション シラバス、講義概要、試験・レポートについての説明及び「ソーシャルワークの基盤と専門職」での学習の振り返り	事前学習	シラバスを持参する。事前に講義概要、シラバスについて目を通しておく。
		事後学習	「ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)」のねらいについて講義用ノートにまとめる。
第 2 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 (1) ソーシャルワーク専門職の概念と範囲について学ぶ	事前学習	テキスト p206-218 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について学習内容をまとめる。
第 3 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 (2) 社会福祉士の職域と役割について学ぶ	事前学習	テキスト p219-226 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士の専門性についてノートにまとめ説明できるようにする。
第 4 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 (3) 多様な組織・機関・団体における専門職について学ぶ	事前学習	テキスト p227-234 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士に求められるコンピテンシーについてまとめる。
第 5 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 (4) 諸外国の動向について学ぶ	事前学習	テキスト p235-244 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの定義について学習内容をまとめる。

第6回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク (1) マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの 対象について学ぶ	事前学習	テキスト p246-254 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの構成要素について学習 内容をまとめる。
第7回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク (2) マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク の展開について学ぶ①(グローバル定義と実践の展開、 介入の考え方)	事前学習	テキスト p255-258 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会正義、人権尊重と権利擁護、集団的責任 と多様性の尊重について要点をまとめる。
第8回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク (3) マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク の展開について学ぶ②(マイクロ・メゾ・マクロレベル での実践の展開と考え方)	事前学習	テキスト p258-267 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支 援について要点をまとめる。
第9回	中間まとめ 確認テスト・グループディスカッション	事前学習	第1回から第8回までの講義要点の再確認を しておくこと。
		事後学習	ここまでの講義内容を整理し、理解を深める こと。
第10回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(1) 総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視 点について学ぶ①(ジェネラリストの視点について)	事前学習	テキスト p270-276 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	エンパワメント、ノーマライゼーション、ソ ーシャルインクルージョンについて要点を まとめる。
第11回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(2) 総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視 点について学ぶ②(実践活動と事例の検討)	事前学習	テキスト p270-276 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの形成過程において、基礎 確立期、発展期について要点をまとめる。
第12回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(3) ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支 援の意義と内容について学ぶ①(多機関・多職種連携・ 協働による包括的支援体制の構築)	事前学習	テキスト p277-281 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの形成過程において、日本 のソーシャルワークの形成過程について要 点をまとめる。
第13回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(4) ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支 援の意義と内容について学ぶ②(社会資源の活用、ソ ーシャルサポートネットワーク)	事前学習	テキスト p281-287 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	専門職の概念について要点をまとめる。
第14回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(5) 多職種連携及びチームアプローチの意義と内容につ いて学ぶ(多職種連携とチームアプローチの意義、機関・ 団体間の合意形成の促進とクライアントとの連携・協働)	事前学習	テキスト p289-302 を熟読し、重要であると 考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	倫理綱領を読み返し、その実践と課題につ いて要点をまとめる。
第15回	まとめ これまでの学習を振り返りその内容を確認、今後の自 己課題を明確にする。	事前学習	これまでの学習を振り返り、疑問点を箇条書 きにする。
		事後学習	学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の 確認を行う。
期末試験			